

2026年度 部活動指導方針

一宮市立大和中学校

1 ねらい

部活動は、生徒の自主的、自発的な参加により行われ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として、学習指導要領に位置付けられた活動である。また、部活動に参加する生徒にとっては、スポーツ、芸術文化等の幅広い活動機会を得られるとともに、体力や技能の向上に役立つだけでなく、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会でもある。

本校は、こうした部活動の教育的価値を踏まえ、次のねらいをもって部活動を実施する。

(1)「生きる力」の育成

スポーツや文化的活動に興味と関心を持つ同好の生徒の主体的・計画的な活動を展開することにより、心身の調和の取れた成長と体力・表現力の向上、豊かな人間性と学校生活の充実を図り、生徒の「生きる力」を育てる。

(2) 生涯スポーツ・文化的活動の基盤づくり

様々な運動や文化の楽しさと喜びを味わわせ、運動や文化に親しむ資質や能力を育成し、生涯にわたって体力の向上や健康の増進、文化的活動に親しむ生活の基盤を培う。

(3) 自主性・社会性の涵養

生徒が主体的に部活動に取り組むことにより、活動意欲の向上や責任感の醸成など自己を高める意欲と態度、自主的・自律的な心を養う。また、学級や学年を離れた集団的な活動を通して、互いを思いやり、好ましい人間関係を築こうとする連帯感や社会性を養う。

(4) 個性の伸長

部活動を通して培われた競技力や表現力を活かしながら自らの持ち味をより良く伸長させる。

2 運営の組織

(1) 部活動運営委員会

校長、教頭、教務主任、校務主任、学年主任、生徒指導主事、保健主事、養護教諭、部活動主任で構成し、部活動指導全般に関わる検討を行う。

(2) 顧問会議

部活動主任、各部活動顧問で構成し、より良い部活動運営に向けての連絡・調整を図る。

3 活動の方針

(1) 開設する部活動について

部の設置については、生徒のニーズと教職員数から以下の条件を満たすものを適切に設置する。

- ・運動部については、中小体連で認められた種目であり、大会に参加するなど具体的な目標の設定が可能な種目であること。
- ・文化部については、大会やコンクールへの参加など具体的な活動目標の設定が可能なものであること。
- ・日常的に校内での活動が可能なものであること。

(2) 生徒の部所属について

- 部活動は生徒の希望に基づく参加とする。(希望入部制)
- 中体連主催の中学校総合体育大会などの大会に学校単位で参加するのは令和8年度の中学校総合体育大会までとする。大会に参加をしたい場合は一宮市が実施している認定地域クラブに個人で所属をして参加する。

※本校の指導者及び部員・保護者が同意した場合は、認定地域クラブに学校部活のチームを登録して大会参加することも可能とする。

- 1年生は仮入部期間を経て、入部手続き完了後から正式入部とする。
- 退部する場合は、必ず本人・保護者・担任・顧問と相談し、退部届を提出する。また、退部後に他の部活動に再入部する場合には、保護者・担任・顧問と相談し、仮入部を経て転入部届を提出する。
- 部活動は年度更新制とし、新2・3年生に対して継続届を提出させることで部活動の継続を確認する。
- 中体連主催の中学校総合体育大会に限り、本校に常設部がない種目(陸上、水泳など)への、所属を本校としての個人参加を希望する場合のみ、本人・保護者・担任・部活動主任を中心に話し合いをもったうえで、校長判断をもって参加を認める。

1 参加希望生徒・保護者との確認事項

- ・ 中体連主催大会の中学校総合体育大会のみを対象とし、所属を本校として、個人参加する場合のみとする。
- ・ 学校で練習の場は、もたない。
- ・ 一定の競技力があり、日頃から各自で練習ができており、かつ、公式大会への参加経験があること。
- ・ 大会当日は、原則として保護者が帯同し、かつ、会場への移動(送り迎え)ができること。
- ・ 本校の名前での参加になる意味を十分に理解し、レギュレーション上の約束事(クラブチームのロゴなど使用できないなど)を守ること。
- ・ コーチ帯同の希望があれば早めに相談すること。

2 顧問(引率者)は部活動主任で調整をし、校長から依頼する。

3 顧問(引率者)は参加手続き、選手・保護者との連絡調整、当日の現地監督業務をする。

(3) 活動内容

部活動のねらいを踏まえ、生徒の実態や健康に配慮し、無理のない内容で活動する。

(4) 学期中の活動ガイドライン

① 活動時間の設定について

ア 平日はST終了10分後からを活動開始の目安として最長16:40までとし、最終下校時刻15分前には活動を終了する。

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
最終 下校時刻	16:50	16:50	16:50	16:50	16:50	前 16:45 後 16:30	16:15 ※	16:15 ※	16:30	16:45	16:50

※11月・12月の平日は水曜日のみ活動とする。1・2年生のみ、水曜日を5時間授業とする。
3年生は6時間授業で総合とする。

- イ 週休日及び休日の活動時間は、3時間までとし、8:00～16:00(最終下校時刻16:15)の中で設定する。また、指導者・生徒とも3時間を超えた活動は実施しない。
- オ 週休日及び休日において、大会や練習試合等により、やむを得ず活動時間を延長する場合は、生徒の体調や健康状態に十分留意した活動計画を立て、校長の承認を得る。
- ウ 暑さ指数(WBGT)が31を越えた場合は運動をしない。

② 休養日の設定について

- ア 一週間のうち、平日に2日(原則月・木曜日)および土日を休養日とする。ただし、総体終了までは、土日のどちらか1日は休養日を設定し、さらに、土日両日とも休養日となる週を月3回以上設定する。
- イ 総体終了までの期間において、大会への参加等により、やむを得ず土日ともに休養日が設定できない場合は、事前に校長の承認を得るとともに、
 - i. 同月内の土日に両日休みを設定する。
 - ii. iが無理な場合は、できるだけ近い土日両日休みになるように、前月または後月に土日両日休みを設定する。
 - iii. iiも無理な場合は、休みが確保できない分だけ後から設定する。

※練習試合、大会のための練習で、土日両日休みを崩すことは認めない。事前の年間計画を大切にす。

(5) 長期休業期間中(夏季・冬季・学年末)の活動ガイドライン

① 活動時間の設定

- ア 長期休業中の活動時間は平日のみとし、3時間までとする。また、指導者・生徒とも3時間を超えた活動は実施しない。

・夏季休業中は、7:30～10:30(最終下校10:45)または15:15～17:15(最終下校17:30)の中で設定する。ただし、熱中症対策から運動部は運動時間を2時間程度とし、暑さ指数(WBGT)が31を越えた場合は運動をしない。各部で15分程度クーラーのきいた部屋でクールダウンを実施する。クールダウンの時間を含めて、活動時間内に終了する。

・冬季および学年末休業中は、8:00～16:00(下校完了16:15)の中で設定する。

- イ 大会や練習試合等により、やむを得ず活動時間を延長する場合は、生徒の体調や健康状態に十分留意した活動計画を立て、校長の承認を得る。

② 休養日の設定

- ア 週休日(土曜日・日曜日)と祝日は休養日とする。

イ 大会への参加等、やむを得ず週休日(土曜日・日曜日)と祝日に休養日が設定できない場合は、事前に校長の承認を得るとともに、前後の週の平日に振り替えることとする。

(6) 休止日の設定

- ア 定期テスト期間の初日からテスト最終日まで イ 家庭の日
- ウ 学校が設定した定時退校日 エ 年末年始の休日(12/29-1/3)、長期休業中の学校閉校日
- オ 学校行事、教員研修等のために休止が適切であると判断した日

4 指導上の共通理解事項

(1) 活動時の服装、持ち物

- 学校生活同様、制服または体操服・ジャージとし、運動部については個人購入したユニフォームも可とする。
- 平日の更衣は体育時の更衣場所に準じ、教室の施錠は書記が行う。

- 着替え場所が確保できない部活動は、平日の下校時には活動中の服装のままかまわない。
- 着替え場所が確保できない部活動は、休日の登下校時には活動中の服装をかまわない。
- カバン、サブバック、靴は、顧問の監督のもと、部室および活動場所の周辺、目の届くところに整頓して置く。

(2) 施設の使用

- 平日・休日のどちらも、活動場所および関連施設(クラブハウス、倉庫、校舎内廊下や昇降口等)の使用は、開錠から施錠確認までを含めて、顧問が責任を持って行う。
 - ・ 部室の鍵
 - 【平日】 職員室北西のキーフックから部員が職員室の先生に許可を得て持っていく。
 - 【休日】 職員室北西のキーフックから顧問の先生に許可を得て持っていく。各顧問の責任の下で行う。
 - ・ 体育器具庫、体育館の施錠も同様に、最後は必ず顧問が見回りをすること。休日については、午前・午後それぞれの部活で施錠を行う。
 - ・ 体育器具庫を開けた場合、カギは器具庫内にかけておく。
 - ・ 石灰を使用する部は、袋の処理まで必ず徹底し、整理整頓に心がけること。
- 雨天時は、他の部活動との合意の上で、校舎内で補強運動や柔軟体操などの軽いトレーニングを行ってもよい。
- 武道場は、剣道部が使用していない時は利用可。ただし、武道場内でのシューズでの使用は不可で、靴下か裸足に限る。
- 屋内運動場・武道場の部活動は次の割り当て表

<平日>

- ・活動時間が1時間以上ある場合は、前半と後半でローテーションをする。

グループ	ステージ側	出入口側	武道場
A	男子バレー	男子卓球	バレー女子/卓球女子
B	女子バレー	女子卓球	バスケ男女
C	男子バスケ	女子バスケ	バレー男子/卓球男子

<休日>

- ・下記の7つの部活動で割り振って利用する。

卓球男子・女子 バレー男子・女子 バasketボール男子・女子 ハンドボール

(3) 健康管理

① 健康観察

- 顧問は職員室前の救急セットバッグを活動場所に持っていき、差し込んである健康観察ファイルで活動前と活動後に健康観察を行う。
- 活動終了時の人員点呼、健康観察を確実に行う。
- 暑い日には解散(下校)前に必ず飲水させる。

② 怪我、体調不良者への対応

- 活動が始まってから体調不良者を訴えた生徒については、無理させず、家庭連絡をして迎えに来てもらう。
- 首から上の怪我は必ず学校から病院へ連れて行く。
- 首から下のケガでも最悪を想定し、学校から病院へ連れていくことをまず考えて対応していく。

- 軽微なケガについては、ケガに至った状況と症状を保護者に連絡する。(できるだけ生徒が帰宅する前に保護者に伝えることが望ましい。)
- 直接病院に行く怪我、家庭から連れていくことがあり得そうな怪我については、すみやかに管理職に報告する。

(5) 休日の活動についての留意点

- 顧問は活動開始時刻30分前から10分前の時間帯に、職員室の電話の自動応答システムを解除し、欠席連絡に対応する。
- 休日の校舎内を使う場合、昇降口の開閉は、顧問が必ず行うこと。
- 休日の自転車置き場については、2・3年生は平日と同じ場所を利用する。1年生については、2年生の自転車置き場の東側の場所を利用する。

(4) 練習試合・大会の引率

- 大会やコンテストへの参加は、事前に校長の承認を得たもののみ参加する。参加申込書に校長印が不要な場合でも、部活動としての参加である以上は必ず校長の承認をえること。
- 校長の参加承認を得たあとに、本人および保護者の参加同意があるもののみ参加手続きを進める。
- 参加同意書は大会終了後まで各顧問が管理する。

大和中学校で試合を行う場合

- ・ 原則2人で指導にあたるが、どうしても2人確保できない場合、事前に、他部活の顧問や職員室内の職員にケガ発生時の対応などを依頼しておく。
- ・ 顧問1人で、校内に他の本校職員への対応が、事前にできない場合は練習試合を行わない。
- ・ 練習試合の相手校の自転車置き場は、各顧問で指示を出すこと。
- ・ 本校での保護者(相手校保護者も含む)の参観は、顧問が責任をもって適切な判断で進めて構わない。

大和中学校以外で試合を行う場合

- ・ 引率者は必ず2人確保する。2人確保できない場合は原則試合を行わない。
- ・ 顧問がどうしても引率できない場合、他の教諭に引率を依頼できる場合はお願いしてもよい。ただしその場合、対外試合届には引率を行う教諭の名前を入れる。または、大和中学校で試合を行うことを検討する。
- ・ 移動手段については自転車移動を基本とするが、交通機関の利用を含めて柔軟に選択してかまわない。
- ・ 練習試合に出かける際は、集合時の自転車一時停車場所は、正門西側に置くこと。指導についても西 真綾側で行う。
- ・ 保護者の相手校での参観については相手校の判断による。顧問が必ず事前に相手校に確認をして、保護者に混乱を与えないようにすること。
- ・ 午前中から出かけて、帰りが昼を過ぎる場合は、昼食(軽食)を持たせるなど配慮する。

5 指導者としての心得

- 体罰は学校教育法で明確に禁止されている行為であり、その根絶に向けて学校組織として取り組みを進める。
- 顧問は、アンガーマネジメントやコーチングなどの技術を学び、生徒の自主性や主体性を育む指導を進める。
- 生徒の発育・発達を無視したハードで単調なトレーニングは、様々なスポーツ障害の要因になるため、スポーツ科学を取り入れた練習方法等に基づいて指導する。
- 生徒の良好な人間関係の形成やコミュニケーション能力の育成につなげ、結果や技術の向上だけにこだわる指導にならないよう留意する。
- 部活動とその他の学校生活が密接に関係しているという認識を持ち、相乗効果により、生徒がより充実した生活を送れるよう留意する。
- 専門的技術指導に優れている外部指導者は、生徒・顧問双方にとって有用な存在であり、積極的な活用を進める。た

だし、学校は、事前に校長から外部指導者に対して本指針等を説明するなどして、教育方針や部活動に対する取組について十分に理解を得たうえで、役割等を明確にして指導にあたらせることとする。